

5 その他入試について

平成30年度入試において、下記の学部で推薦入試等を実施します。

なお、詳細については、各学生募集要項を確認してください。募集要項の請求方法は、この選抜要項の15～16ページの(7)を参照してください。

(1) 専門学科・総合学科卒業生入試（前期日程）の概要

学部・学科	募集人員	出願要件	選抜方法	備考
商学部	6名	次の(1)から(3)のすべての条件に該当する者 (1) 高等学校の総合学科又は専門高等学校に2年以上在籍し、商業に関する科目を20単位以上修得して卒業した者、又は平成30年3月に卒業見込みの者。普通科の生徒は受験できない。 (2) 平成30年度大学入試センター試験の所定の教科・科目を受験した者 (3) 簿記又は情報処理で次のいずれかに該当する者 ① 日本商工会議所簿記検定2級以上の合格者 ② (公財)全国商業高等学校協会簿記実務検定1級の合格者 ③ 経済産業省が認定する「情報処理技術者試験」の各試験区分のいずれかの合格者 ④ (公財)全国商業高等学校協会情報処理検定(プログラミング部門又はビジネス情報部門)1級の合格者	大学入試センター試験の成績と個別学力検査(国語総合・現代文B、外国語)の成績及び調査書の内容を総合して判定する。 ※大学入試センター試験の受験科目について 国語 「国語」(近代以降の文章)※「近代以降の文章」の点数のみを利用し、「古典(古文、漢文)」の点数は利用しない。 数学 「数学I」、「数学I・数学A」から1科目選択と「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択の計2科目 外国語 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択(英語にはリスニングを含む) 3教科4科目	出願期間 平成30年 1月15日(月) ～1月19日(金) 選考期日 平成30年 2月25日(日) 合格者発表 平成30年 3月9日(金)

(2) 推薦入試の概要

学部・学科	募集人員	出願要件	選抜方法	備考
商学部	6名	次の(1)から(3)のすべての条件に該当する者 (1) 商業に関する学科又は総合学科を持つ高等学校において、当該の学科に2年以上在籍し、商業に関する科目を20単位以上修得して平成30年3月に卒業見込みの者。普通科の生徒は受験できない。 (2) 平成30年度大学入試センター試験の所定の教科・科目を受験した者 (3) 次の(A)と(B)の条件に該当し、合格した場合には必ず本学に入学することを確約できる者 (A) 次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者 (ア) 本人自身又は本人の保護者が、平成29年4月1日以前から引き続き大阪市内に住所(住民票があること)を有する者 (イ) 大阪市内の高等学校に在籍する者 (B) 次の(ア)と(イ)のすべての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できる者 (ア) 調査書の学習成績概評がAの者 (イ) 簿記又は情報処理で次のいずれかに該当する者 ① 日本商工会議所簿記検定2級以上の合格者 ② (公財)全国商業高等学校協会簿記実務検定1級の合格者 ③ 経済産業省が認定する「情報処理技術者試験」の各試験区分のいずれかの合格者 ④ (公財)全国商業高等学校協会情報処理検定(プログラミング部門又はビジネス情報部門)1級の合格者 ただし、1学校で推薦出来る人数は、6名までとする。	大学入試センター試験の成績と口述試験の成績及び調査書の内容を総合して判定する。 ※大学入試センター試験の受験科目について 国語 「国語」(近代以降の文章)※「近代以降の文章」の点数のみを利用し、「古典(古文、漢文)」の点数は利用しない。 数学 「数学I」、「数学I・数学A」から1科目選択と「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択の計2科目 外国語 「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択(英語にはリスニングを含む) 3教科4科目	出願期間 平成30年 1月15日(月) ～1月19日(金) 選考期日 平成30年 2月1日(木) 合格者発表 平成30年 2月6日(火)

学部・学科	募集人員		出願要件	選抜方法	備考
理学部 物理学科	計	3名	平成30年3月に卒業見込みで、志望学科に関連する科目において特に優れた適性と能力を有する者のうち、学校長が責任を持って推薦できる者で、出願資格Ⅰ、Ⅱ又はⅢに該当し、合格した場合には本学に入学することを確約できる者	大学入試センター試験を免除し、出願書類の内容及び選抜試験の成績を総合して判定する。	出願期間 平成29年 11月1日(水) ～11月7日(火) 選考期日 平成29年 11月18日(土)
	Ⅰ	(1名)			
	ⅠとⅡとⅢ	(2名)			
理学部 化学科	計	5名	○出願資格Ⅰ 大阪市立の高等学校に在学する者	(1) 小論文 化学を中心とする自然科学について論述を課す(英語の基礎学力を含む)。 (2) 口述 学習意欲、学習能力等について行う。	合格者発表 平成29年 11月29日(水)
	Ⅰ	(1名)	○出願資格Ⅱ 出願資格Ⅰ以外の者で、次の(1)(2)のいずれかに該当する者		
	ⅠとⅡ	(2名)	(1) 本人又は本人の保護者が、平成29年4月1日以前から引き続き大阪市内に住所(住民票があること)を有する者		
	ⅠとⅡとⅢ	(2名)	(2) 大阪市内の学校に在学する者		
理学部 生物学科	計	6名	○出願資格Ⅲ 出願資格Ⅰ、Ⅱ以外の者で、本人やその保護者の住所、学校所在地は限定されない	(1) 小論文 生物に関する基礎学力を問い、論述を課す(英語の基礎学力を含む)。 (2) 口述 学習意欲、学習能力等について行う。	
	Ⅰ	(2名)	※合格者の決定は、はじめに出願資格Ⅰより選抜し、次に		
	ⅠとⅡとⅢ	(4名)	出願資格ⅠとⅡより選抜し、その次に		
理学部 地球学科	計	3名	出願資格ⅠとⅡとⅢより選抜します(募集人員欄の()内は内数)。	(1) 小論文 「地球に関連する自然科学」・「英語」の基礎学力を問う。 (2) 口述 学習意欲、学習能力等について行う。	
	Ⅰ	(1名)	ただし、1学校で推薦出来る人数は、募集学科1学科につき2名までとする。		
	ⅠとⅡとⅢ	(2名)			
工学部 機械工学科 電子・物理工学科 電気情報工学科 化学バイオ工学科 建築学科 都市学科	各学科 1名 (計6名)	平成30年3月卒業見込みの者で、次の(1)及び(2)に該当し、合格した場合には必ず本学に入学することを確約できる者 (1) 大阪府内に所在する高等学校で、工業、農業及びこれらに類する職業教育を主とする学科に在籍する者 なお 在籍学科により出願可能な学科に制限(詳細は募集要項参照のこと)があります。 (2) 高等学校長が責任をもって推薦できる者(推薦要件詳細は募集要項参照のこと) ただし、1つの高等学校で推薦できる人数は、募集学科1学科につき1名とする。同一人の複数学科への推薦は認めません。	大学入試センター試験を免除し、出願書類(調査書、高等学校長の推薦書、志望理由書)、小論文(志望各学科専門分野に関連する基礎的課題について論述する。論述に加えて、簡単なスケッチ、イラストや工作を要求することもある)及び口述(学習意欲及び適性に関して口頭試問を行う。なお、建築学科への出願者は建築製図あるいは建築構造設計などの成果物「作品あるいは設計図書など」を持参すること)を総合して判定する。	出願期間 平成29年 11月1日(水) ～11月7日(火) 選考期日 平成29年 11月18日(土) 合格者発表 平成29年 12月1日(金)	
工学部 建築学科	6名	次に掲げる基準をいずれも満たす者で、本学が指定する高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。)の学校長が推薦する者 (1) 本学が指定する高等学校を平成30年3月に卒業見込みの者 (2) 高等学校在学中の学業成績が一定基準以上の者 (詳細は指定高等学校宛に通知します)	大学入試センター試験を免除し、出願書類(調査書、高等学校長の推薦書、志望理由書)及び面接を総合して判定する。	出願期間 平成29年 11月1日(水) ～11月7日(火) 選考期日 平成29年 11月18日(土) 合格者発表 平成29年 12月1日(金)	

学部・学科	募集人員	出願要件	選抜方法	備考
医学部 看護学科	推薦方式Ⅰ 2名 推薦方式Ⅱ 8名	<p>平成30年3月卒業見込みの者で、次の(1)及び(2)に該当し、本学科が定める大学入試センター試験の教科・科目を受験した者で、合格した場合には必ず本学に入学することを確約できる者</p> <p>(1) 学力のみならず、人物、能力、資質等において特に優れ、学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(2) 本学を卒業後、看護職者として保健・医療及び社会福祉に貢献しようとする積極的な意思を有し、看護の実践分野で活躍できる者</p> <p>(注) 「高等学校、中等教育学校後期課程」以外の学校に在学する者は、本学において事前協議を行い、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた場合に出願できます。</p> <p>【推薦方式Ⅰ(限定枠)】 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 本人又は本人の保護者が平成29年4月1日以前から引き続き大阪市内に住所(住民票があること)を有する者</p> <p>② 本人の在学する学校が大阪市内にある者</p> <p>③ 大阪市立の学校に在学する者</p> <p>【推薦方式Ⅱ(全国枠)】 前述の推薦方式Ⅰに該当しない者</p> <p>(注) 推薦方式Ⅰで不合格となった者は、推薦方式Ⅱに該当する者と共に再度選抜します。</p> <p>※各学校において、複数名、推薦できます。</p>	<p>志望理由書等の出願書類及び大学入試センター試験の成績を総合して判定する。</p> <p>※大学入試センター試験の受験科目について</p> <p>国語 「国語」 地理歴史・公民 「世界史A」、「世界史B」、 「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択 数学 「数学Ⅰ・数学A」と (「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択)の計2科目 理科 「物理」、「化学」、「生物」から1科目選択 外国語 「英語」、「ドイツ語」、 「フランス語」、「中国語」、 「韓国語」から1科目選択 (英語にはリスニングを含む) 5教科6科目</p>	<p>出願期間 平成29年 12月14日(木) ～12月20日(水)</p> <p>合格者発表 平成30年 2月6日(火)</p>
生活科学部 食品栄養科学科 居住環境学科 人間福祉学科	推薦方式Ⅰ 食品栄養科学科 2名 居住環境学科 2名 人間福祉学科 2名 推薦方式Ⅱ 食品栄養科学科 6名 居住環境学科 6名 人間福祉学科 10名	<p>次の(ア)(イ)のいずれかに該当する者で、本学部が定める大学入試センター試験の教科・科目を受験した者で下記の推薦方式Ⅰ又は推薦方式Ⅱに該当し、合格した場合には必ず本学に入学することを確約できる者</p> <p>(ア) 「高等学校等」(注)を平成29年3月以降に卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(イ) 「高等学校等」以外の学校を平成28年4月以降に卒業(修了)した者及び平成30年3月卒業(修了)見込みの者で、本学において「高等学校等」を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもの(本学において事前協議が必要)</p> <p>(注) (ア)(イ)にいう「高等学校等」とは、日本国内の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)及び特別支援学校の高等部をいいます。</p> <p>【推薦方式Ⅰ(限定枠)】 次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、学力のみならず人物、能力、資質等において特に優れ、高等学校等の学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(1) 次の①②のいずれかに該当する者</p> <p>① 平成28年4月以降に卒業(修了)した者 本人又は保護者が平成28年4月1日以前から引き続き大阪市内に住所(住民票があること)を有する者</p> <p>② 平成30年3月に卒業(修了)見込みの者 本人又は保護者が平成29年4月1日以前から引き続き大阪市内に住所(住民票があること)を有する者</p> <p>(2) 大阪市立の高等学校等又は大阪市内にある高等学校等を卒業(修了)又は卒業(修了)見込みの者</p> <p>※ 推薦方式Ⅰで不合格となった者は、推薦方式Ⅱに該当する者と共に再度選抜します。</p> <p>【推薦方式Ⅱ(全国枠)】 上記推薦方式Ⅰに該当しないが、学力のみならず人物、能力、資質等において特に優れ、高等学校等の学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>※各学校において、複数名、推薦できます。</p>	<p>志望理由書等の出願書類及び大学入試センター試験の成績を総合して判定し、指定した者のみ口述試験を実施します。</p> <p>※大学入試センター試験の受験科目について</p> <p>国語 「国語」 地理歴史・公民 「世界史A」、「世界史B」、 「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択 ただし、人間福祉学科は「世界史A」、「日本史A」、「地理A」を除く。 数学 「数学Ⅰ・数学A」と (「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択)の計2科目 理科 「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」から2科目又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目選択。 ただし、食品栄養科学科の志願者は「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 外国語 「英語」 (英語にはリスニングを含む)</p>	<p>出願期間 平成29年 12月14日(木) ～12月20日(水)</p> <p>合格者発表 平成30年 2月6日(火)</p>

(3) 国際バカロレア入試・帰国生徒入試の概要

学部・学科	募集人員	出願要件	選抜方法	備考
文学部	若干名	<p><国際バカロレア入試> 次の(1)及び(2)に該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)を2016年4月から2018年3月までに授与された者もしくは授与される見込みの者で2018年3月31日までに18歳に達するもの(2000年4月1日以前に生まれた者) ※見込みで合格した場合でも2018年3月31日までに国際バカロレア資格を取得できない場合は、合格取消となります。 (2) 言語Aを日本語により履修した者 (日本語A以外の場合は、出願資格審査を行いますので、10月2日(月)までに学生サポートセンター文学部教務担当に問い合わせてください。)</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、筆答試験(小論文)、口述試験及び出願書類の内容を総合して判定する。</p>	<p>出願期間 2017年 10月20日(金) ～10月26日(木) 選考期日 2017年 11月18日(土) 合格者発表 2017年 12月8日(金)</p>
		<p><帰国生徒入試> 日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、次の各号のいずれかに該当する者 (1) 外国において学校教育における12年の課程を、2016年4月1日から2018年3月までに卒業又は卒業見込みの者で2018年3月31日までに18歳に達するもの(2000年4月1日以前に生まれた者)。また、最終学年を含め3学年以上継続して外国の学校(日本の高等学校に相当する課程をいう)に在学した者。ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けた者とはみなさない。 (2) 外国において上記(1)と同等以上の学力があると認められる大学入学資格を有するもので2018年3月31日までに18歳に達するもの(2000年4月1日以前に生まれた者) (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を2016年又は2017年に取得した者で2018年3月31日までに18歳に達するもの(2000年4月1日以前に生まれた者) (4) フランス共和国の大学入学資格として認められているバカロレア資格を2016年又は2017年に取得した者で2018年3月31日までに18歳に達するもの(2000年4月1日以前に生まれた者)</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、筆答試験(小論文、※外国語)、口述試験及び出願書類の内容を総合して判定する。 ※外国語について「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」から1科目選択解答する。</p>	
生活科学部 食品栄養科学科 居住環境学科 人間福祉学科	若干名	<p><国際バカロレア入試> 次の(1)及び(2)に該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)を2016年4月から2018年3月までに授与された者もしくは授与される見込みの者で2018年3月31日までに18歳に達するもの(2000年4月1日以前に生まれた者) ※見込みで合格した場合でも2018年3月31日までに国際バカロレア資格を取得できない場合は、合格取消となります。 (2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①及び②に該当する者 ①言語Aを日本語により履修し、成績評価が4以上の者 (日本語A以外の場合は、出願資格審査を行いますので、10月2日(月)までに学生サポートセンター生活科学部教務担当に問い合わせてください。) ②本学の指定する下記科目を履修し、成績評価が4以上の者 <食品栄養科学科> 物理(HL)、化学(HL)、生物(HL)から1科目 <居住環境学科> 物理(HL)、数学(HL)から1科目 <人間福祉学科> 英語(HL)</p>	<p>大学入試センター試験を免除し、筆答試験(小論文)、口述試験及び出願書類の内容により判定する。</p>	<p>出願期間 2017年 10月20日(金) ～10月26日(木) 選考期日 2017年 11月18日(土) 合格者発表 2017年 12月8日(金)</p>

(4) 社会人入試の概要

学部・学科	募集人員	出願要件	選抜方法	備考
経済学部 経済学科	5名	平成30年3月31日において次の1及び2の両条件を満たす者 1 満28歳以上の者 2 次のいずれかに該当すること (1) 高等学校を卒業した者 (2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者 (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 (5) 文部科学大臣の指定した者 (6) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者、及び平成30年3月31日までに合格見込みの者(廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む) (7) 相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると、本学において認められた者(本学において事前協議が必要)	大学入試センター試験を免除し、出願書類の内容及び以下の選抜試験の成績を総合して判定する。 (1) 筆答試験 「小論文」、 「英語」 (2) 口述試験 筆答試験の所定の科目をすべて受験した者に対して行う。	出願期間 平成30年 1月15日(月) ～1月19日(金) 選考期日 平成30年 2月25日(日) 26日(月) 合格者発表 平成30年 3月9日(金)
医学部 看護学科 (学士・社会人)	5名	次の(1)～(3)のすべてに該当する者 (1) 次の①～③のいずれかに該当する者 ① 大学入学資格を有し、平成30年3月末日をもって4年以上の社会人としての経験を有する者 ② 大学を卒業した者又は平成30年3月までに卒業見込みの者 ③ 学校教育法第104条第4項の規定により、学士の学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者 (2) 本学を卒業後、大阪府内の看護職者として保健・医療及び福祉に貢献しようという意志のある者 (3) 看護師・准看護師・保健師・助産師いずれの資格(国家試験受験資格を含む)も有していない者	大学入試センター試験を免除し、出願書類の内容及び以下の選抜試験の成績を総合して判定する。 (1) 筆答試験 「国語」(国語総合・現代文B) 又は「数学」(数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学A・数学B)から1教科選択。 外国語「英語」(コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 英語表現Ⅰ・Ⅱを出題範囲とする。) (2) 口述試験 筆答試験の所定の科目をすべて受験した者に対して行う。	出願期間 平成30年 1月15日(月) ～1月19日(金) 選考期日 平成30年 2月25日(日) 26日(月) 合格者発表 平成30年 3月9日(金)